



### USAカリフォルニア産:<気温高く、原料価格高値>

カリフォルニア州のストロベリーの主要産地では、4月末時点の気温は26～30℃と平年より約12℃高い状況です。この気温上昇を背景に、今期のストロベリーの収穫は前期と比較し約2週間ほど早目に推移していますが、昨年同様、気温の上昇により成長の早まった果実に糖が乗り切らず規格外品が増える可能性が危惧されています。

ストロベリーの生鮮市場は5月11日の母の日を境に加工用にシフトされます。カリフォルニア州全体では80%が生鮮、残りが加工用となります。

今年の加工用原料価格は\$0.42/LBと、昨年比\$0.05/LBの値上げで開始されました。冷凍ストロベリーの価格は原料価格の影響を大きく受けるため、今年の製品価格の値上がりは必至と見られます。

近年、いわゆるカリフォルニア大学開発品種(チャンドラー、カマロッサ、アルピオン等)の栽培面積は減少傾向となっており、ドリスコル、ウェルピクト等のメーカー独自開発品種の比率が増加しています。独自開発品種は、今期カリフォルニアの栽培品種の43%を占めています。

弊社では今期も引き続き、従来のアルピオン種の取り扱いを基本としていますが、栽培面積の増加しているサンアンドレアス種、モンレー種のテスト的な取り扱いを検討しています。

また、新規にウェルピクト種の取り扱いを開始いたします。同種はウェルピクト社によって独自開発された品種で、生鮮市場で高く評価される香りの良い点が最大の特長となります。商品の詳細につきましては、製品入荷後に改めてご案内いたします。



アルピオン農園 (5月1日ワトソンビル地区)

### 中国山東省産:<継続的な天候不順で30%減産>

山東省産冷凍ストロベリーは、主要産地維坊地区で30%程度の減産傾向との状況です。

昨年7～8月の育苗期に大雨に見舞われ、30%程度の苗が打撃を受け、その後9月からは一転して干ばつに見舞われました。2014年1月以降もほとんど雨が降っていない状況との事です。5月上旬の天候は平年と比較し低温で推移している事も減産理由となります。

各パッカーからのオファー価格は、以上の天候不順を要因に強含みで推移しています。

中国産冷凍ストロベリーは5月下旬から6月上旬が買付時期となります。現地価格等、最新の情報につきましては、弊社営業担当者までお問い合わせください。

